



ネットヨタ三重&リーガ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

伊賀
白鳳高等学校
エコカー部
編

部員のスキルや強みを生かし、
チームのパフォーマンスを向上させる

伊賀白鳳高等学校 エコカー部



エコカー部



創設から約30年の伊賀白鳳高等学校エコカー部。
現在1年から3年まで14人で活動しています。

設計から製作までを自分たちで取り組み、レースに出場する省エネカー、ソーラーカーには部員の知恵や技術、工夫、経験が盛り込まれています。

Q1 部活の魅力は？

A1 (小西さん) エンジンやバッテリー、ソーラーパネルを使った車を自分たちで走らせて、大会に出られることが魅力です。

部員 小西 匠さん
(こにし匠)

Q3 現在の目標は？

A3 (小西さん) 10月に岐阜県のフエスティカサーキットで「Eco Power in Gifu」があります。ハイブリッドカーと省エネカーで出場し、結果を出すことです。

二次元コードを読み取るとエコカー部のコメントが見られます。



Q4 チームの強みは？

A4 (小西さん) 車好きが多く、自然と案が出るところと各々の役割をしっかりと果たそうとすることで。

(保志場さん) 歴代OBの方から引き継いだ車両に改良を重ねてどんなよくなっていることです。

Q5 今のチームの課題は？

A5 (小西さん) まわりを見る力が足りないところ、自分の役割だけに集中せず、手を貸して欲しい人のことに気付いて行動しないといけないです。

Q6 部活動を通して生徒に学んでほしいことは？

A6 (奥先生) 状況判断がしっかりできて、自発的に先を見越して動けるようになってもらいたいですね。就職で生かされるはずです。

Q7 どんなことを意識して活動されていますか？

A7 (奥先生) 日頃の成果を発揮する場として大会に出ています。大会は通過点であって、自分達のやってきたことを確認する場です。中でも秋田県での大会はみんなと一緒に6日間通してします。疲れもあり人間性も出るときに、チームとしてどう動くかです。機械で部品を作ること、創意工夫でなんとかなりますが、チームワークは思い通りにはなりません。大会で経験を積むことで、社会人になるにあたって大事なことを学んでいると思います。



顧問 奥 守孝先生

Q2 部長やドライバーとして心がけていることは？

A2 (小西さん) チームとして動くことが多いので、一人ずつに役割をどう振っていくかです。

(保志場さん) 身長や体重の条件のほか、体力づくりが必要で、自分の運転次第で結果が変わるので責任があります。



ドライバー 保志場 遥一さん
(ほしは しょういち)



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!